

研究データ利活用協議会（RDUF）の活動紹介：研究データに関わる オープンサイエンス、データ問題の議論のために

Introduction to RDUF (Research Data Utilization Forum): an arena for international and local research data management

*村山 泰啓^{1,2}

*Yasuhiro Murayama^{1,2}

1. 国立研究開発法人情報通信研究機構 戦略的プログラムオフィス、2. 研究データ利活用協議会副会長

1. Strategic Program Produce Office, National Institute of Information and Communications Technology, 2. Vice chair of RDUF (Research Data Utilization Forum)

2013年G8科学大臣会合を契機として、オープンサイエンスの推進が国際的な大きなトピックとなっている。G8やOECD、AGU等でもとりあげられている研究データの共有や識別子、相互利用などへ向けた国際フォーラム Research Data Alliance（RDA）の活動が、国際的なデータ流通のデファクト標準化や国際合意の場として活発化している。こうした活動を国内でも展開する重要性から、データへのDOI付与を検討するグループから発展して、研究データ利活用協議会（RDUF）が設立された。個人会員はオンラインで無料加盟可能で、とくに義務はなく、自発的なコミュニティ活動、情報交換の場として機能している。ぜひ多くの方に興味を持っていただき参加いただければ幸いである。